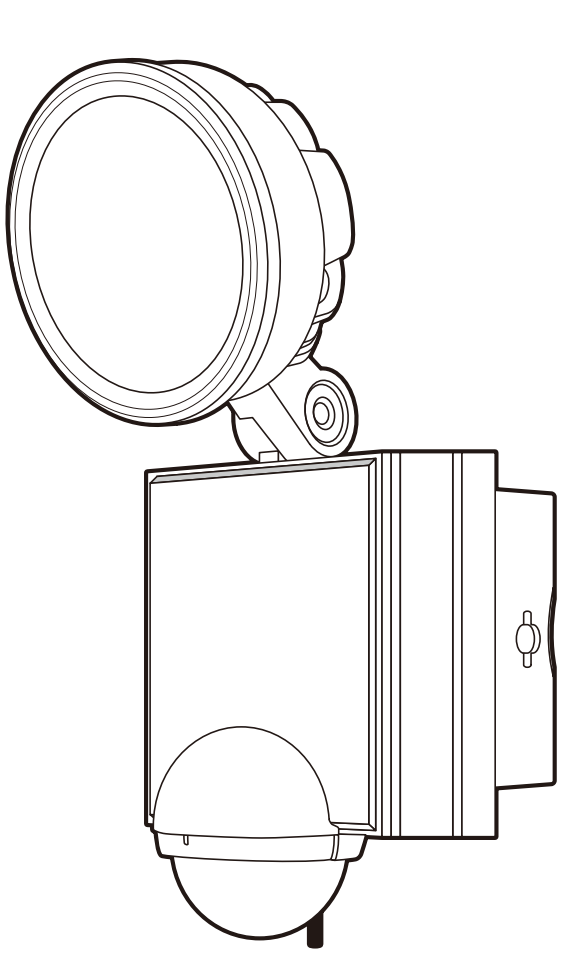
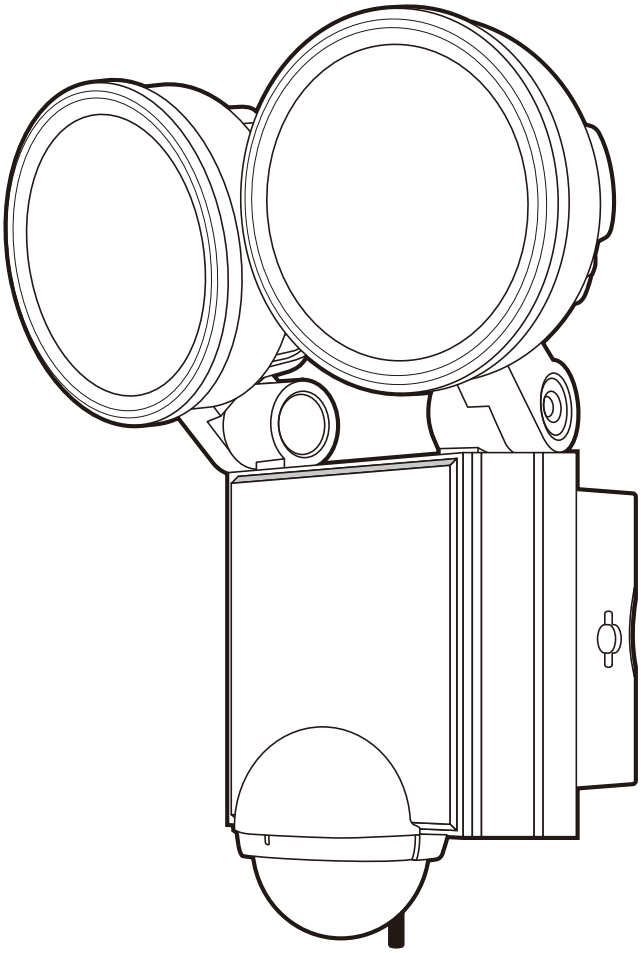
ELPA

取扱説明書
保証書付

AC100V電源 LEDセンサーライト

品　番
ESL-SS801AC
ESL-SS802AC
ESL-SS1001AC
ESL-SS1002AC





お客様へのお願い

この度は弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお読みください。

本品は強盗、盗難、空巣などの被害を未然に防ぐことを保証するものではありません。
万一、被害などが発生しましても当社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

1 安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のように区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示します。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を表示します。

⚠ 警告

- ●点灯中や消灯直後は器具に触らないでください。ランプやその周辺が過熱しており、やけどの原因となります。
  また、人が容易に手を触れる事が出来る2m以下の場所には設置しないでください。
- ●燃えやすい物や引火しやすい物の近くには設置しないでください。昼でも本体に布団や洗濯物等がかぶさると点灯し引火する恐れがありますのでご注意ください。
- ●布や紙など燃えやすいものをかぶせないでください。火災の原因となります。
- ●交流100V以外では使用しないでください。過電圧を加えると火災·感電の原因となります。
- ●視力を損なう恐れがありますので点灯中のライトを直視しないでください。
- ●電源コードを本体等に巻きつけたり、コードを束ねたまま使用しないでください。【火災·感電の原因】
- ●電源コードの上に物を載せたり、ステップルを打ち込まないでください。【ショート·感電·火災·故障の原因】
- ●電源コードが傷んだまま使用しないでください。芯線が露出·断線したまま使用すると火災の恐れがあります。
- ●本機は防雨構造ですので通常の雨や風には耐えますが、**大量の水（ゲリラ豪雨や台風の雨など）がかかる場所や湿気の多い浴室などでは使用できません。**
  ※防雨構造はIPX4電気機械器具の保護等級に適合します。
- ●正面から見て本体が地面に対して斜めになったり、逆さまになるような取り付けをしないでください。検知機能に異常をきたすうえ、浸水による故障や漏電の原因となります。また万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。
- ●取り付けはこの取扱説明書に従って確実に行ってください。
- ●屋外で使用される場合、コンセントは防雨型をご使用ください。コードの延長が必要な場合は、必ず防雨型の延長コードをご使用ください。
- ●設置時やお手入れ、点検等の際は必ず電源プラグを抜いてから行ってください。感電事故の原因になります。
- ●電源コードの抜き差しは必ずプラグ本体を持って行ってください。【断線による火災の原因】
- ●定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でホコリを取り除いてください。また、長期間ご使用されない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ●電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。
- ●異常を感じたときは、速やかにコンセントから電源プラグを抜いてください。煙が出たり、変なにおいがしたままの状態で使用すると火災や感電の原因となります。また、お客様による修理は危険ですから、販売店もしくは当社にご相談ください。
- ●電源プラグの抜き差しは、濡れた手で行わないでください。【火災·感電·故障の原因】
- ●分解·改造はしないでください。また、指定用途以外での使用や、指定外の取付部品を使用しないでください。

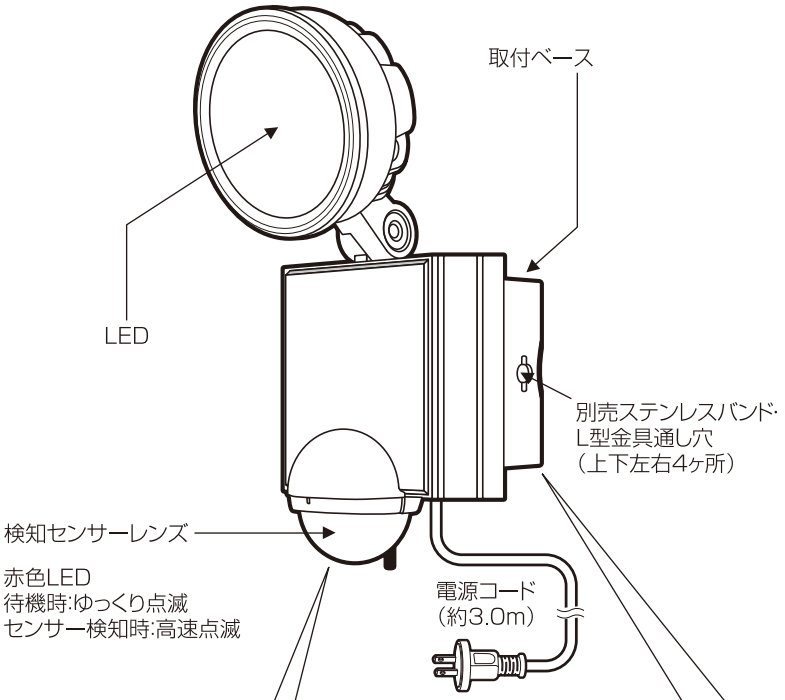
⚠ 注意

- ●温度の高くなるもの(ガス機器やその排気口、エアコン室外機)の近くには取付けないでください。
- ●本機をベンジンやアルコール、シンナーで拭いたり、殺虫剤を吹きかけないでください。変色、変形、ひび割れの恐れがあるほか、引火、感電の原因となります。
- ●不安定な場所に取付けないでください。落下などによるけがや火災の原因となります。取付け後、しっかり固定されているか必ず確認してください。

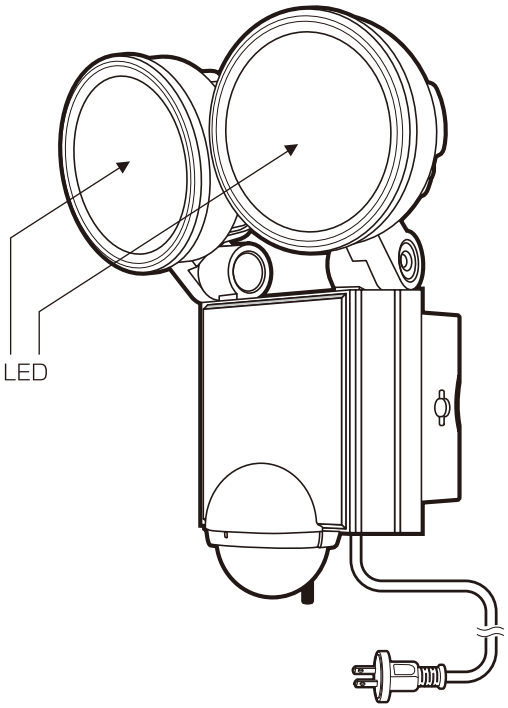
2 各部の名称と付属品

本体

ESL-SS801AC
ESL-SS1001AC

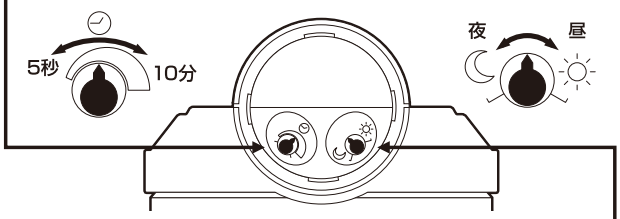


ESL-SS802AC
ESL-SS1002AC



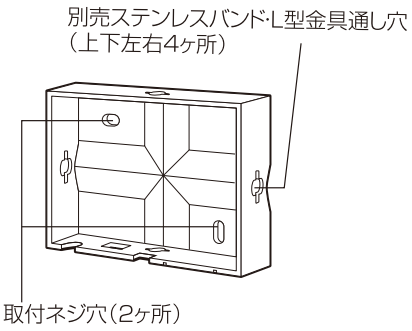
※本体を下から見た図

点灯時間調整ツマミ
点灯時間5秒～10分を設定、調整できます。



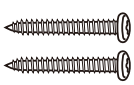
点灯開始照度調整ツマミ
周囲が明るいときにも検知～周囲が暗いときだけ検知させるようにセンサーを調整できます。

取付ベース



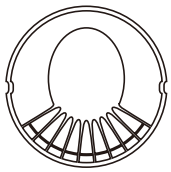
付属品

●取付ネジ（2本）
（φ4×38mm）

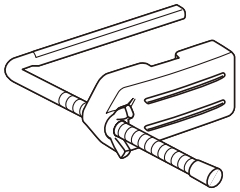


●コンクリート用
スリーブ（2本）
（φ6×30mm）

●マスキングカバー（1個）



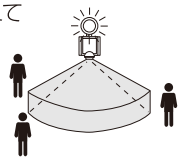
●クランプ（1セット）



3 まず初めに

⚠ 本体の**設置を行う前に**各機能が正しく動作するか動作確認を行ってください。

①
点灯時間調整を「5秒」に、点灯開始照度を「昼」に設定し電源プラグをコンセントに差し込みます。
ウォームアップ(初期安定動作)が開始され約40秒間ランプが点灯します。
この間ランプは点灯したままになりますので、検知エリア外に離れてお待ちください。



設定方法や検知エリアは「❺ 各種調整」を参照してください。

➡

②
消灯後検知エリアを横切るように歩きランプが点灯する事を確認します。
続いて検知エリア外へ移動すると約5秒後にランプが消灯する事を確認します。

➡

③
点灯時間調整を時計周りに回して、点灯時間が長くなる事を確認します。
続いて点灯開始照度を「夜」に設定し、周囲が明るい場合に点灯しない事を確認します。

<動作確認完了>

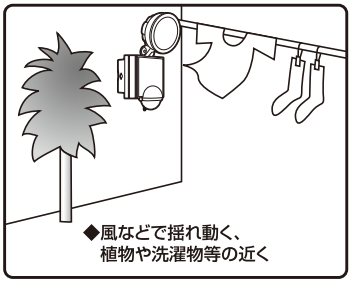
ウォームアップ(初期安定動作)について!

電源プラグをコンセントに差し込んだときは、点灯開始照度の設定に関わらず、約40秒間ランプが点灯します。
これはセンサーが安定するまでの初期動作で、故障ではありません。

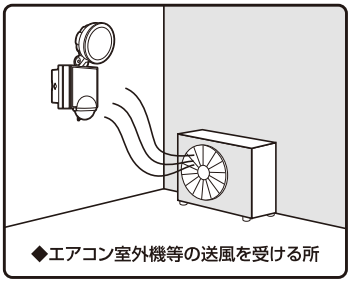
4 設置方法

取り付け上のご注意

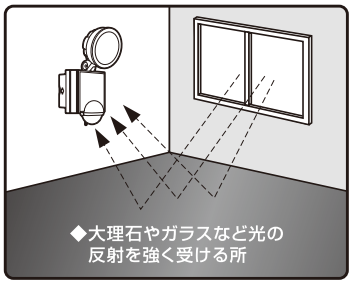
※センサーは周囲の明るさと温度変化を検知します。
下図のような場所に取り付けると誤動作したり、動作しない場合があります。



◆風などで揺れ動く、植物や洗濯物等の近く

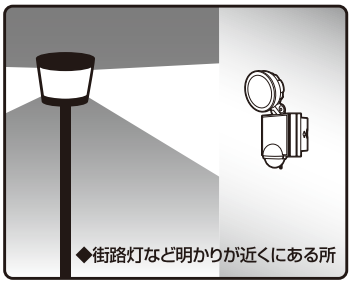


◆エアコン室外機等の送風を受ける所

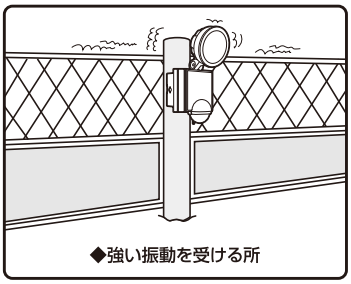


◆大理石やガラスなど光の反射を強く受ける所

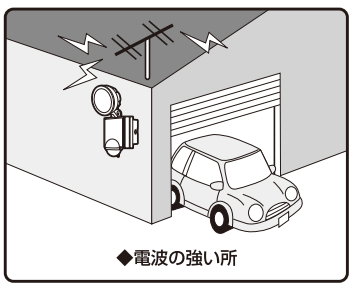
◆ガラスや壁越しの所



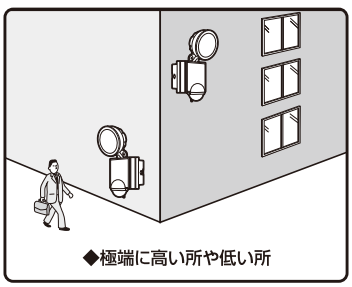
◆街路灯など明かりが近くにある所



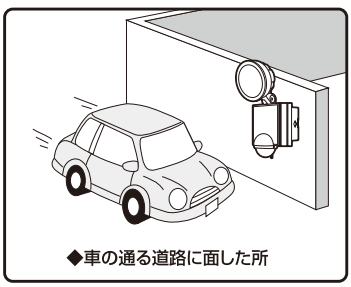
◆強い振動を受ける所



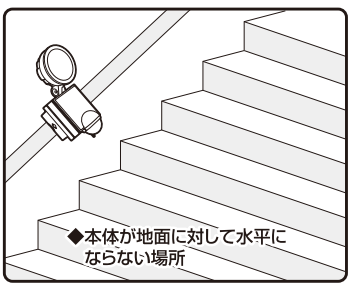
◆電波の強い所



◆極端に高い所や低い所

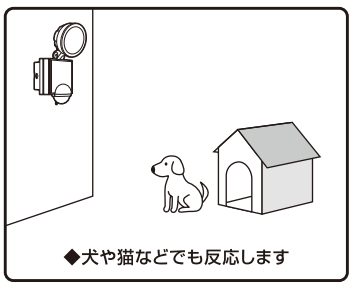


◆車の通る道路に面した所

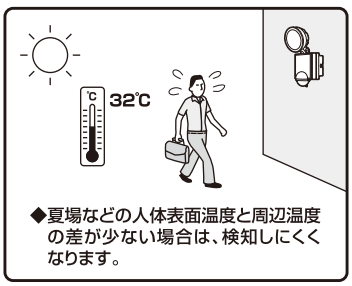


◆本体が地面に対して水平にならない場所

センサーの特性上、以下の点にご注意ください。

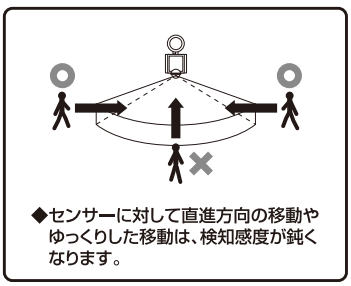


◆犬や猫などでも反応します



◆夏場などの人体表面温度と周辺温度の差が少ない場合は、検知しにくくなります。

◆冬場の完全防寒により肌の露出が少なくなると体温を検知しにくくなります。



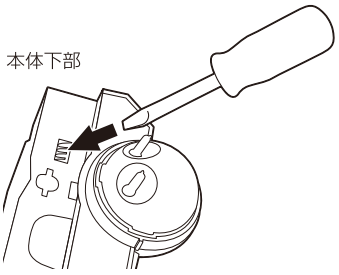
◆センサーに対して直進方向の移動やゆっくりした移動は、検知感度が鈍くなります。

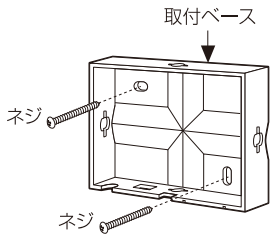
4 設置方法（つづき）

本体の取付方法　⚠ 万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。

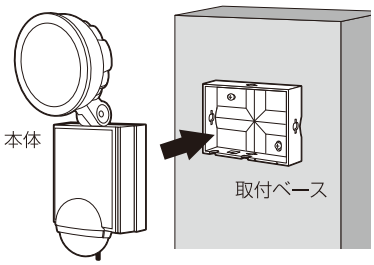
ネジでの取り付け

①本体から取付ベースを外します。
※下図のようにマイナスドライバーを差し込んで外してください。



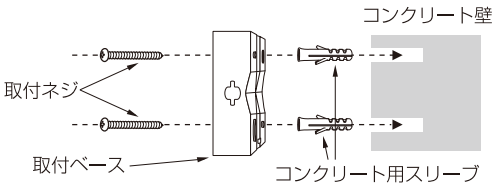


②取付けベースにはめ込み固定します。

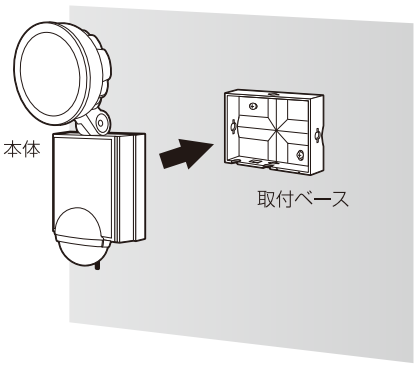


コンクリート壁への取り付け

①あらかじめドリルで直径6mm、深さ30mmの穴を開け、そこへ付属のコンクリート用スリーブを打ち込んでから、付属の取付ネジで取付ベースを固定してください。



②取付けベースにはめ込み固定します。

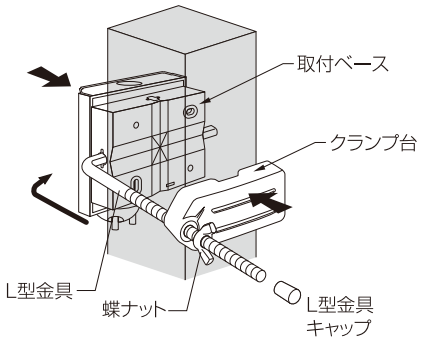


取付ベースをはめ込む際は指などを挟まない様ご注意ください。

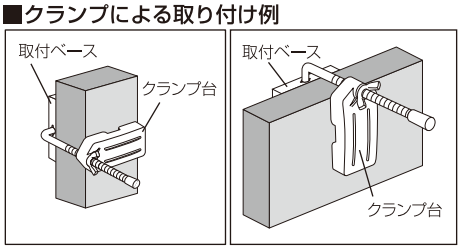
クランプでの取り付け

最小約1cmから最大約10cm幅まで取り付け可能

①取付ベースのL型金具通し穴にL型金具を差込みます。
②L型金具にクランプ台を通し蝶ナットで締め付けます。
③L型金具の余った部分にL型金具キャップをかぶせてください。



■クランプによる取り付け例

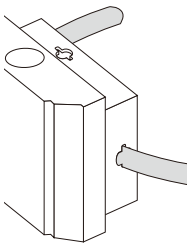


横からの取り付け　　上からの取り付け

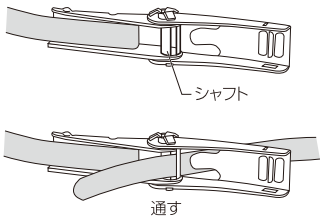
別売ステンレスバンドによる取り付け
（弊社型番ESL-SB）

（直径約26cmまで取り付け可能）

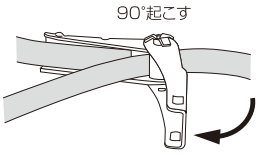
⚠ステンレスバンドの構造上、一度締め付けるとゆるめる事はできません。
※ケガをする恐れがありますので作業用手袋を必ず着用してください。



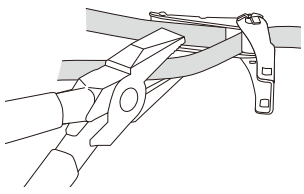
①取付ベースのステンレスバンド通し穴（上下または左右の2箇所）にステンレスバンドを通します。



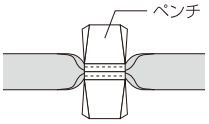
②バンドを取付箇所（ポールなど）に巻付け、先端をシャフトの間（シャフトは2枚構成）に通して、バンドにたるみのない程度に張ります。



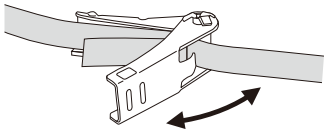
③バンドを適当に張り、ハンドルを90度起こして仮止めします。



④仮止めができたら、バンドの余長をシャフトから3cm程度のところで切断します。バンド端末は外に出ません。



※図のようにペンチでバンドを2つ折りにし左右に振ると、切断しやすくなります。



⑤ハンドルを反復回転させる。
（ラチェット機構なのでバンドを巻取る）
※締めすぎると⑥の工程でハンドルが倒せなくなりますので、ご注意ください。

⑥ハンドルをベースに重なるまで倒して、ストッパーにかしめ込んで完了です。

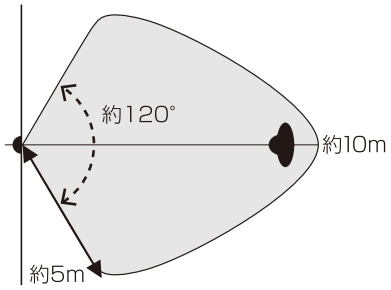
5 各種調整

検知エリアについて

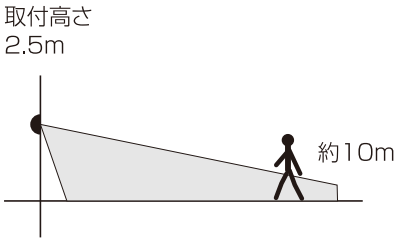
検知エリアは目安です。気温、服装、移動速度、侵入方向、体温、器具の設置状態などにより大きく変化します。

気温：20℃
湿度：50%

【平面図】　検知エリアを上から見た図



【側面図】　検知エリアを横から見た図



※センサーは検知エリア内の温度変化を検知するため、人以外の熱源（動物・車など）も検知します。
※検知エリアの外側でも人より大きな熱源（車など）が移動した場合は検知する事があります。
※検知エリアにゆっくり侵入した場合、検知しなかったり、検知距離が短くなります。
※センサーに向かって正面方向から接近した場合は、検知距離が極端に短くなります。
※夏場など人体表面温度と周辺温度の差が少ない場合は、検知しにくくなります。
※冬場にマフラー、ニット帽などで完全防寒すると肌の露出が少なく、衣服の表面と外気温の温度差が少なくなり検知しにくくなります。

センサーレンズの検知方向の調節

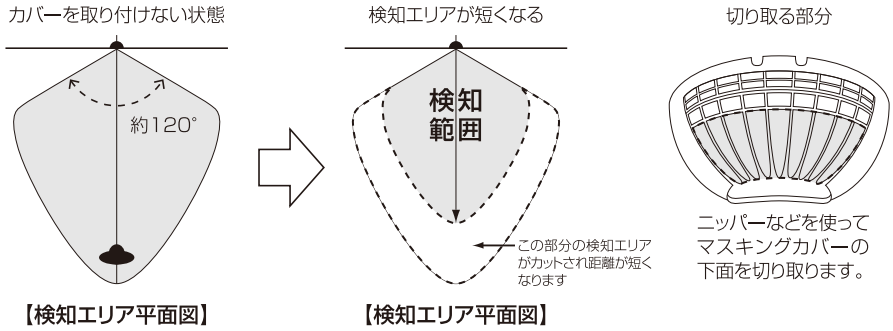
左右各約90度

※故障の原因となりますので90度以上回さないでください。

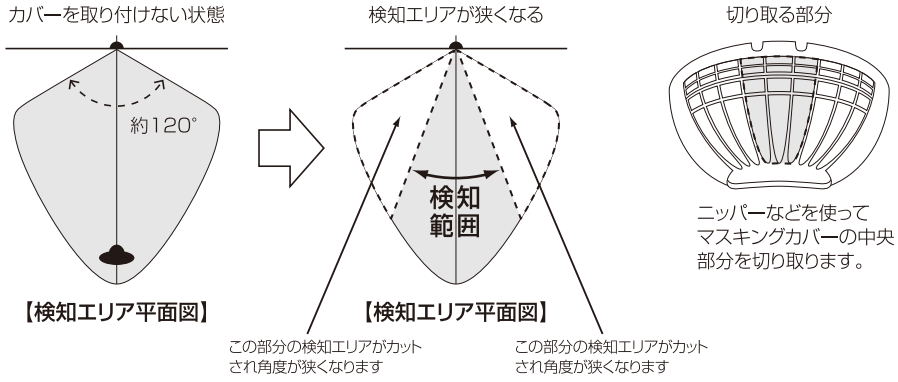
マスキングカバーの使用方法（検知エリアの調節）

センサーの検知エリアを狭くしたい場合のみ、付属のマスキングカバーで調節してください。
マスキングカバーを取り付けると、カバーで覆われた部分はセンサーが検知しなくなります。

<例1>検知距離を短くする

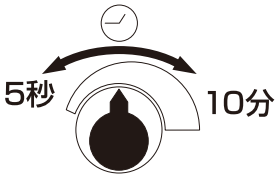


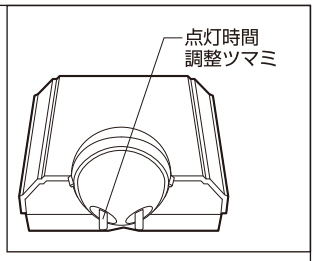
<例2>検知角度を狭くする



点灯保持時間の設定

センサーが検知しなくなってから消灯するまでの時間を設定できます。



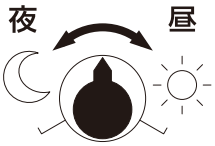


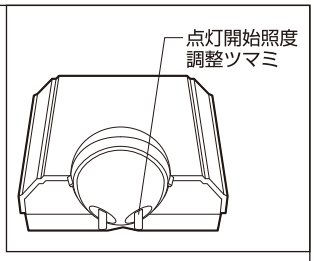
点灯時間:約5秒～10分の間で設定できます。

※センサーの検知エリア内で人や動物が動き続けると、センサーが再検知し点灯時間は延長されます。
※出荷時は約5秒に設定されています。

点灯開始照度の設定

センサーが検知を開始する明るさを設定できます。



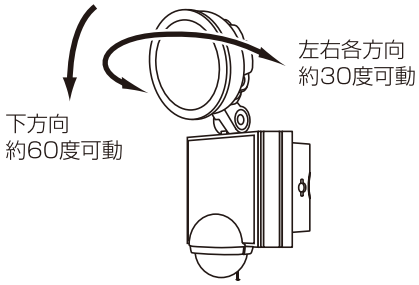


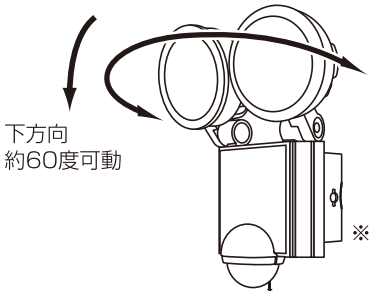
[夜]周囲が暗くなってから点灯します。
昼間などの明るい時間は点灯しません。
[昼]周囲の明るさに関係なくセンサーが検知すると点灯します。

※点灯開始照度変更後20秒間は検知エリア外に離れてお待ちください。
※出荷時は[昼]に設定されています。

照射方向の調整

ライト部と本体を持って上下、左右に照射角度を調整してください。





※故障の原因となりますので上記角度以上に回さないください。

※ESL-SS802AC/SS1002ACの灯体は左右単独で可動します。

6 故障かなと思ったら

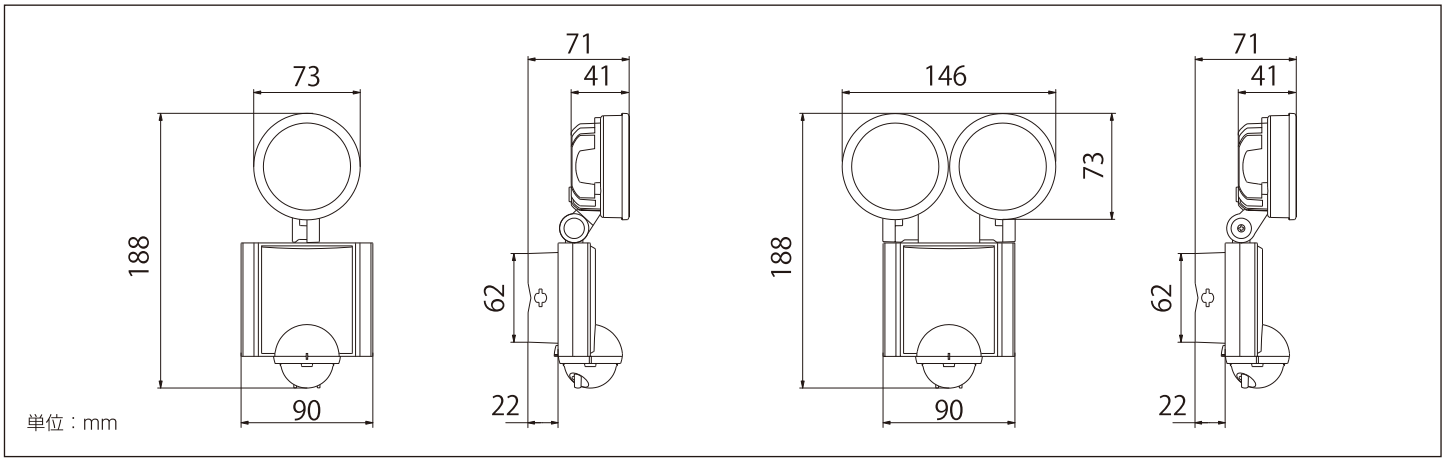
現　象	考えられる原因	処　置
ライトが点灯しない (センサーが反応しない)	電源が正しく供給されていない。	電源コードの接続およびコンセントの電源供給(ブレーカー)の確認。
	センサーに向かって直進している。 ※センサーの特性上、正面方向から近づいた場合は検知距離が極端に短くなります。	センサーの検知エリアに対して、検知対象（人など）が横切るような場所へ取付ける。またはセンサーの角度を変更する。
	周囲が明るい。 （夜でも周囲に他の照明器具がある）	点灯開始照度を「昼」側に調整する。 他の照明器具の明かりが届かない場所へ取付場所を変更する。
	寒いときや雨降りの時で、人がマフラーや傘などで覆われている。 夏場など周囲の温度と人体の温度差がすくない。 非常にゆっくりとした速度で検知エリアに侵入している。	設置場所や検知エリア等を調整する。 ※センサーは人の動きによる温度変化を検知するため左記の場合などは検知しにくくなることがあります。
	検知エリアが遮られている。 ※ガラスや壁、塀越しには人の動きを検知できません。	検知範囲の調整、もしくは取付場所を変更する。
	本体が正しく設置されていない。 ・高い位置に設置している ・低い位置に設置している ・傾けて設置している	本品は約2.5mの高さに垂直に設置してください。
ライトが点灯したまま消えない (センサーが反応し続ける)	電源投入直後のウォームアップ時間中。 ※回路を安定動作させるため、電源投入直後はライトが約40秒間点灯したままになります。	ウォームアップ時間が終了するまで、検知エリアの外に出て待機してください。
	何らかの物体がセンサーに反応し続けており、点灯時間が延長されライトが点灯したままになっている。	完全に検知エリアの外に出る。 検知エリアをマスキングカバーで狭い範囲に調整する。 取付場所を変更する。
	点灯時間が10分に設定されている。	点灯時間を「5秒」側に調整する。
人がいないのに点灯する	検知エリア内、または周囲に下記のような誤動作をする要因がある。 （例） 風で揺れるもの（植木、洗濯物、旗など）、犬や猫などの動物、温風や冷風が吹き出すエアコン室外機、ガス給湯器からの熱気、強い無線ノイズ	誤動作要因となっているものを検知エリア内から取り除く。 検知エリアをマスキングカバーで狭い範囲に調整する。
	検知エリアが道路にかかっており、通行する自動車や人に反応している。	取付場所を変更する。
	風や車両の通行等により、センサーライトを取り付けている柱などが振動している。	振動の影響を受けない場所に取付場所を変更する。
昼間なのにライトが点灯する	点灯開始照度の設定ボリュームが「昼」になっている。	点灯開始照度の設定を「夜」側に調整する。
ライトが点滅する (点いたり消えたりを繰り返す)	本機の発光方向に光を反射する障害物がある。 ※反射した光をセンサーが検知して誤動作する場合があります。	光を反射する障害物を取り除く。
ライトが点いてもすぐ消える	点灯保持時間が「5秒」に設定されている。	点灯保持時間を「10分」側に調整する。
	本機の発光方向に光を反射する障害物がある ※反射した光をセンサーが検知して誤動作する場合があります。	光を反射する障害物を取り除く。

仕 様

品番	ESL-SS801AC	ESL-SS802AC	ESL-SS1001AC	ESL-SS1002AC
検知方式	赤外線受動式			
電源電圧	AC100V 50/60Hz			
消費電力	約8W(待機時 約0.5W)	約16W(待機時 約0.5W)	約10W(待機時 約0.1W)	約20W(待機時 約0.2W)
使用周囲温度範囲	−20℃〜40℃			
点灯保持時間	約5秒〜約10分間			
点灯開始照度	約5lx(夜)〜(昼)			
耐水性能	IPX4(防沫形)			
電源コード長	約3.0m			
光源	白色 LED×1灯 (全光束 約600ルーメン)	白色 LED×2灯 (全光束 約1200ルーメン)	白色 LED×1灯 (全光束 約850ルーメン)	白色 LED×2灯 (全光束 約1700ルーメン)
質量(電源コード含)	約475g	約500g	約605g	約665g
付属品	取付ネジ 2本 / コンクリート用スリーブ 2本 / マスキングカバー1個 / クランプ1セット			

※LEDの交換はできません。
※商品の特性上、明るさや光の色にバラつきが出る場合がありますので、ご了承ください。
※仕様及び外観・外装は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
※製造には万全を期しておりますが、万一不具合のあった場合は良品と交換いたします。それ以外の責はご容赦ください。

外形寸法図



AI170203A